

平成29年（2017）7月 入域観光客数概況

7月の観光客数は、90万7,900人
対前年（H28）同月比 +10万2,100人、+12.7%
～7月の過去最高更新、各月の過去最高を45ヶ月連続更新～

入域状況

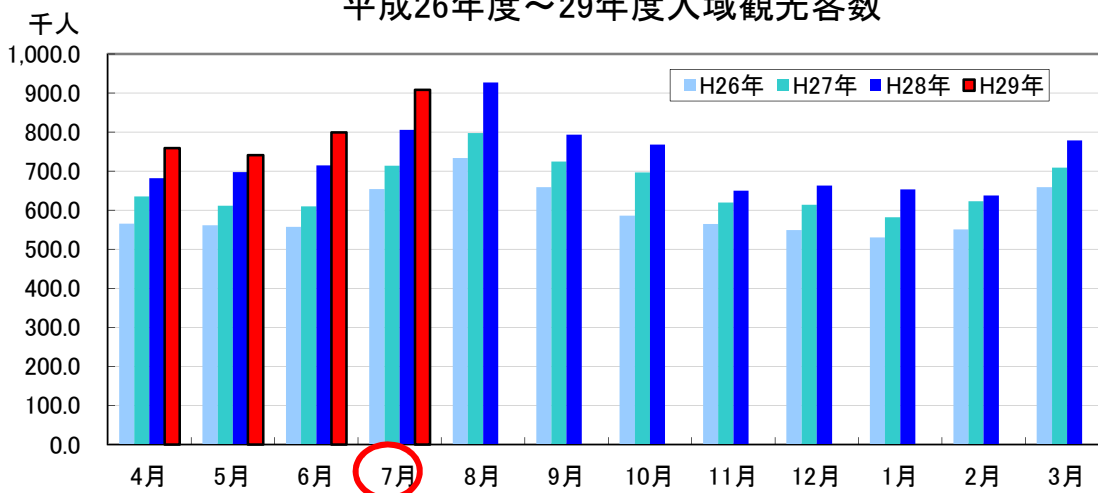
入域観光客数（平成28年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
国内客	615,200 人	588,500 人	+ 26,700人	+ 4.5%	67.8%
外国客	292,700 人	217,300 人	+ 75,400人	+ 34.7%	32.2%
合計	907,900 人	805,800 人	+ 102,100人	+ 12.7%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成28年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
国内客	615,200 人	588,500 人	+ 26,700人	+ 4.5%	70.9%
外国客	252,600 人	191,100 人	+ 61,500人	+ 32.2%	29.1%
合計	867,800 人	779,600 人	+ 88,200人	+ 11.3%	100.0%

平成26年度～29年度入域観光客数



国内客 入域状況

7月は、旅行会社や航空会社による販売取組の強化により、各方面とも販売状況が良好であったことや、深夜便など航空路線の拡充があったこと等により、前年を上回った。

8月は、本格的な夏休みシーズンに入り旅行会社による商品の予約状況が良好なことや、航空会社におけるお盆期間の予約状況が前年を上回っていること等から、好調に推移する見込み。

外国客 入域状況

7月は、台北・高雄－那覇路線の増便を含む航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港回数が増加したこと等から前年を上回り、単月として過去最高の入込数となった。

8月は、引き続きクルーズ船の寄港回数が増加予定であることに加え、本格的な夏休みシーズンによる旅行需要の増加が見込まれること等から、好調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	312,600 人	303,900 人	+ 8,700人	+ 2.9%	50.8%
関西方面	118,600 人	117,500 人	+ 1,100人	+ 0.9%	19.3%
福岡方面	76,900 人	68,700 人	+ 8,200人	+ 11.9%	12.5%
名古屋	50,800 人	48,000 人	+ 2,800人	+ 5.8%	8.3%
その他	56,300 人	50,400 人	+ 5,900人	+ 11.7%	9.2%
合計	615,200 人	588,500 人	+ 26,700人	+ 4.5%	100.0%

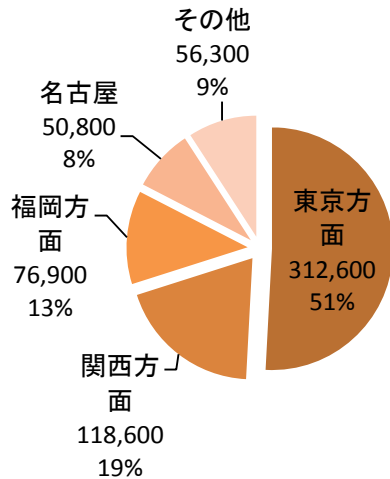
※国内海路客5,600人を含む(鹿児島2,500人、横浜2,300人、その他800人)

外国客 国籍別入域状況

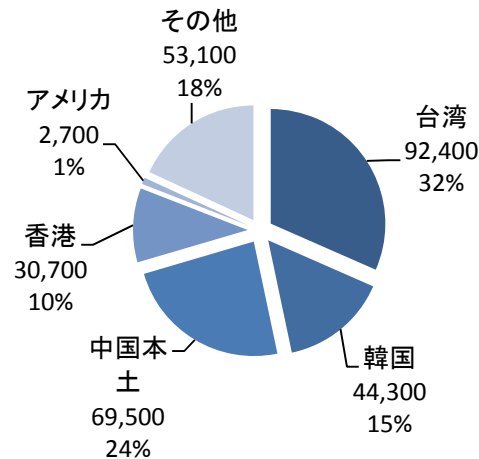
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H29年度	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	92,400 人	92,400 人	62,200 人	+ 30,200人	+48.6%	31.6%
韓国	44,300 人	44,300 人	37,800 人	+ 6,500人	+17.2%	15.1%
中国本土	69,500 人	69,500 人	55,300 人	+ 14,200人	+25.7%	23.7%
香港	30,700 人	30,700 人	25,700 人	+ 5,000人	+19.5%	10.5%
アメリカ	2,700 人	2,700 人	2,100 人	+ 600人	+28.6%	0.9%
その他	53,100 人	13,000 人	34,200 人	+ 18,900人	+55.3%	18.1%
合計	292,700 人	252,600 人	217,300 人	+ 75,400人	+34.7%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	56,300 人	56,300 人	+21.9%	34.9%	36,100 人	36,100 人	+125.6%	27.5%
韓国	44,200 人	44,200 人	+16.9%	27.4%	100 人	100 人	皆増	0.1%
中国本土	26,300 人	26,300 人	+0.0%	16.3%	43,200 人	43,200 人	+49.0%	32.9%
香港	24,200 人	24,200 人	+11.0%	15.0%	6,500 人	6,500 人	+66.7%	4.9%
アメリカ	2,000 人	2,000 人	+11.1%	1.2%	700 人	700 人	+133.3%	0.5%
その他	8,300 人	8,300 人	+45.6%	5.1%	44,800 人	4,700 人	+57.2%	34.1%
合計	161,300 人	161,300 人	+15.5%	100.0%	131,400 人	91,300 人	+69.1%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

7月は、航空会社による深夜便の実績や、旅行会社における本島・離島方面の販売実績が良好であったこと等から、前年を上回った。

8月は、本格的な夏休みシーズンを迎え航空会社や旅行会社で前年を上回る予約状況があることや、お盆期間の臨時便を含めて航空路線の拡充があること等から、好調に推移する見込み。

大阪

7月は、スカイマークの増便により輸送実績が増加したことや、旅行会社や航空会社の販売状況が前年並みにあったこと等から、前年を上回った。

8月は、本格的な夏休みシーズンを迎え航空会社や旅行会社の予約状況が前年並みにあることや、お盆期間の予約も多く見られること等から、堅調に推移する見込み。

福岡

7月は、スターフライヤー北九州－那覇関連の旅行商品が良好な出足となっていることや、ファミリー層を中心に旅行会社の取扱実績が高かったこと等から、前年を上回った。

8月は、航空会社の先行割引航空券などの予約状況や、引き続きファミリー層を中心とした旅行会社の予約状況が良好なこと等から好調に推移する見込み。

名古屋

7月は、スカイマークの深夜便等航空路線の拡充があったことや、離島を中心に航空会社や旅行会社の販売実績が高かったこと等から前年を上回った。

8月は、ANAの夏期増便を含む航空路線の拡充があることや、離島直行便を中心に航空会社の予約状況が良好なこと等から好調に推移する見込み。

台湾

7月は、台北・高雄－那覇路線の増便や、クルーズ船の寄港回数の増加したことで、空路客、海路客ともに前年を上回った。

8月は、引き続きクルーズ船の寄港回数が増加する予定で、予約状況も良好なこと等から堅調に推移する見込み。

韓国

7月は、旅行会社の販売取組の強化により、夏休み前のお手頃な旅行商品の販売実績が良好であったこと等から、前年を上回った。

8月は、前年同月と比べて航空路線の拡充があることや、光復節(8/15)を絡めた連休で旅行需要の増加が見込まれること等から、空路客を中心に好調に推移する見込み。

中国本土・北京

7月は、日本の他方面との競合はあるものの、家族旅行を中心に旅行商品の販売状況が良好なこと等から、前年を上回った。

8月は、航空会社の予約状況が良好なことや、本格的な夏休みシーズンで旅行需要の増加が見込まれること等から、好調に推移する見込み。

中国本土・上海

7月は、前年同月と比べて航空路線の拡充があったことや、大型クルーズ船の寄港があったこと等から、前年を上回った。

8月は、航空会社の予約状況が良好なことや、クルーズ船の寄港回数が増加する予定であること等から、好調に推移する見込み。

香港

7月は、香港エクスプレスの香港－石垣路線の増便を含む航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港の増加等から、前年を上回った。

8月は、前年同月と比べて航空路線の拡充があることや、香港発クルーズ船の寄港予定があること等から好調に推移する見込み。